

つわぶき後援会の活動

■看護職・栄養専門職養成 70 周年記念イベント

令和5年10月2日(月)に、島根県が看護職・栄養専門職養成を開始して70周年となる記念イベントを開催しました。



第1部では、西ノ島町保健師の草刈恵里奈さん(短期大学部看護学科卒業・専攻科公衆衛生看護学専攻修了)と町立奥出雲病院管理栄養士の藤原裕子さん(島根女子短期大学家政科食物専攻卒業)が登壇し、それぞれ現場での専門職としての実践や今後の展望について発表してく

れました。

第2部は、「知ろうとすること、関心を持ち続けること」をテーマとする、地球のステージ代表理事の桑山紀彦さん(心療内科医)の公演でした。世界の紛争地や災害地で医療支援活動を展開する中で出会った人々や現地の暮らしを映像とエピソードそして音楽で綴る公演でした。参加者一人ひとりが「今、自分に何ができるか」を問い、考える時間になりました。

後援会では記念ボトルを制作し、全学生に配布しました。



■サークル紹介(災害研究会)

☆「We Support UNICEF 賞」受賞

日本ユニセフ協会
活動報告のサイト ⇒



(公財)日本ユニセフ協会より「We Support UNICEF 賞」が災害研究会に贈られました。

これまで、被災地へ出向き、被災された方の心の支援や健康増進活動などを行ってきました。この度のトルコ・シリア大地震では、現地に行くことができないため、募金活動を行うことにしました。家や着るものを失った子どもたちに、生活に必要な物資を届けたいという思いで、学内に募金箱を設置し学生や教職員に募金を呼びかけました。街頭での募金活動は初めてで、商業施設に実施日の交渉に行くなど初めての経験もしました。



募金活動をおこなった学生は、小さなお子さんが手を伸ばして募金をしてくれた時が嬉しかったと言っていました。おつりを手に握りしめて買い物帰りに募金される方や、一度私たちの前を通過した後に、お財布を確認して戻ってこられる方など、いろいろな方の善意をととても嬉しく感じました。いままで募金をしたことがない学生もたくさんいましたが、募金活動をする立場を経験したことで、これからは募金に協力をしたいと思ったと、多くの学生たちの意識が変容しました。(募金総額: 35 万円余り)



■国家試験対策

国家試験の合格率 100%を目指し、毎年セミナーや模試に対する補助を行っています。1、2 月には、直前講習会も開催予定です。また、試験に係る借り上げバスや宿泊の補助も行っています。学生のみなさんが安心して国家試験に臨めるよう、サポートを行っています。

また、3 年次生以下の学生についても、模試の補助や対策講座を行っています。

